

かみす

Pick up
▶2019年度 行政委員を紹介します

元気いっぱい遊ぶ男の子。一緒に公園に来ていたお母さんは「自分が子どもの頃も親と来ていました」と懐かしそうに話しました。今も昔も暮らしの場——。実は神之池は1000年以上前から、人びとの生活に深く関わってきました。令和元年を迎えた今、神之池緑地の魅力を再発見します。

特集

まちの魅力再発見

神之池 緑地

1000年前から暮らしの場

AR 広報かみすが
動き出す



[COCOAR2]



アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は16ページ

神之池緑地

1000年前から暮らしの場

ぽかぽか陽気の春から初夏にかけて、外を歩いて
いるだけで気持ちの良い季節です。まぶしいほどの
青空に「家の中にいるのがもったいない」と思ったら、
神之池緑地に出かけてみませんか？

市民の憩いの場

神之池の周辺一帯が遊び場

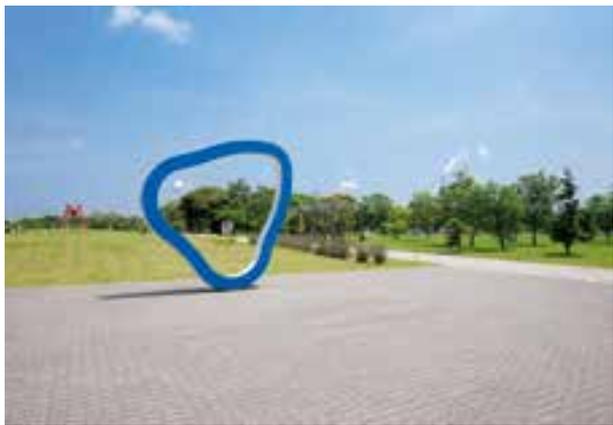
神之池緑地は、神栖市のシンボルである神之池を中心とする約73ヘクタールの広大なレジャーパークです。神之池をぐるりと一周できるランニング・散歩コースがあり、その周囲に緑地帯や遊具広場、バーベキュー広場、多目的広場、パターゴルフ場などが整備され、中央公民館・文化センターなどの施設も含まれます。

また、かみす桜まつり、神栖花火大会、かみすフェスタ、神栖市芸術祭、神栖市スポーツレクリエーション祭などさまざまなイベントの舞台にもなっています。

自然に包まれて憩い、遊び、スポーツやイベントまで自由に楽しめる身近なスポット。1人でも、家族や友人と一緒に、赤ちゃんからお年寄りまで、いつでも誰でも心地よく過ごすことができます。

水辺のウォーキングコース

神之池は周囲4・4キロメートルの東西に細長い池で、池沿いのランニング・散歩コースは約5キロメートル。早朝から夕方まで、犬の散歩



埋め立て前の神之池をモチーフとしたモニュメント

やウォーキング、ジョギングなどをする市民の姿が絶えません。散歩中の人に声をかけてみると、「クッションがきいているので歩きやすいですね。毎日歩くのにちょうど良い距離です」「買い物に出たついでにウォーキングをしています」「水辺を歩くのは気持ちが良いですよ」と気さくに話してくれました。

調子の良い日は一周し、ちょっと疲れた日や時間がない日は、ふれあい橋を渡って約半周で戻ってくることもできます。



大きな遊具で楽しめる芝生広場



つきやま広場の長い滑り台



大人気のバーベキュー広場



幼児用遊び場には遊具がいっぱい



子どもとママののんびり過ごせる

安全な子どもの遊び場

子どもや家族の遊び場も充実しています。つきやま広場、林間遊び場、芝生広場などが点在し、幼児向けの遊具から大人も利用できる健康遊具まで盛りだくさん。遊具がたくさんあるので、順番待ちなどせずに遊び放題です。

「広々としていて、安全に遊べるのが何よりうれしいですね」「人がたくさんいても混んでいる感じはしません。子どもがのびのびと走り回れます」「木陰が気持ちよくて、のんびり過ごせます」と笑顔のママやパパ。中には、「自分子どもの頃もよく釣りをしに来ました」「昔はスワンボートがあったんですよ」と話す人も。バーベキュー広場には、「よく友人家族を誘って大勢で来ています」という「常連さん」がいきました。



当時のスワンボート

地元の人のだけでなく、他市や千葉県から来る人も多い神之池緑地。それぞれ、いろいろな楽しみ方を見つけられるのが魅力です。

スポーツを楽しむ

抜群のスポーツ環境

スポーツの拠点となっているのも大きな特徴です。神之池の南側には、陸上競技場、市民体育館、武道館、多目的広場が並び、東側にはパターゴルフ場、北側には野球場、庭球場と、スポーツ施設に囲まれています。

毎年12月には「神栖小学校駅伝大会」が開催され、市内15校から40チーム以上が参加。神之池を3周する14・1キロメートルでタスキをつなぎます。また年が明けた1月には「神栖市スポーツ少年団駅伝大会」が、同じく神之池周回コースで開催。子どもたちにとって安全で理想的な駅伝コースとなっています。

親しみやすい軽スポーツ

平成24年に発足した「かみすすポーツクラブ」は、年齢や運動レベルを問わず、地域の人々でスポーツに親しみ健康づくりをする団体です。現在の会員数は約200人。グラウンド・ゴルフ、カヌー、スポーツ吹矢、ファミリーバドミントン、ユニカール、ヨガ、ジュニアソフ



多目的広場



カヌー体験教室(スポーツレクリエーション祭)

転がってカヌーに入ることもあるのでも(笑)、一打逆転を見られるのが面白いところですよ。また、みんなが集まって和気あいあいと話をするのも大きな楽しみ。家に閉じこもりがちだった人が、グラウンド・ゴルフ

トバレーボール、健康体操、卓球、ノルディックウォーキングなど多種多様な教室を開催しています。

会長の大高達也さんは、「まず体験してみてもスポーツの楽しさを知ってもらおうのが一番の目的です。そのため、誰でも簡単にできる軽スポーツの紹介に力を入れています」と話してくれました。



大高会長

グラウンド・ゴルフが盛ん

特に神栖市で盛んなのがグラウンド・ゴルフ。市内で32チーム、約500人がプレーをしており、年間約30大会が開催されています。大高さんは日本グラウンド・ゴルフ協会認定の指導者として、その普及に努めてきた一人。グラウンド・ゴルフの魅力を教えるもらいました。

「実力はもちろん大事ですが、運も味方につけないと上位に入れません。何回ホールインワンを出せるかが勝負の分かれ目。ボールが勝手に

を始めたなら元気に明るくなった例もあります」

カヌー体験のチャンス

もう一つ、特徴的な競技としてカヌーが挙げられます。神之池で4月から10月まで毎週土曜日にカヌー教室を開催しており、下は小学生から上は70代まで参加するそうです。

「小学生の時にカヌー教室に参加したのがきっかけで、その後国体に出場し、今年の茨城国体でも強化選手になった高校生がいます」と胸を張

る大高さん。かみすスポーツクラブは、カヌー人口の裾野を広げることに貢献しています。

「カヌーは若者が多く参加しますが、他の競技もシニア層だけでなくもっと若い世代の会員を増やしたいですね」と語る大高さん。子どもの頃から体を動かす楽しさを知り、好きなスポーツと出会い、生涯にわたって続けていく。神之池緑地が、人と人、人とスポーツを結ぶ拠点であり続けることが大高さんの願いです。

神之池緑地がいきいき茨城ゆめ国体2019の舞台に!

茨城国体に向けて着々と準備が進んでいます。神栖市で開催されるのは、正式競技のテニス、カヌースプリントと、公開競技のグラウンド・ゴルフです。



昨年開催された国体のリハール大会

そのうち、神之池はカヌースプリント(200メートル、500メートル)の会場となっており、国体での活躍を目指してカヌースプリントチーム[ENDEAVOUR(エンデバー)]が練習に励んでいます。カヌースプリント競技の魅力は、迫力のあるスピード感と、スタートからゴールまで目の離せないレース展開。神之池は細長いので、池沿いはレース観戦の特等席です。皆さんの大きな声援が、きっと選手に届くでしょう。

また、国体版のパラリンピックといえる全国障害者スポーツ大会のグラウンド・ゴルフも、神之池緑地を会場として繰り広げられます。

熱戦の数々を間近に観られるチャンス。ぜひ応援しましょう!

歴史こぼれ話

「神栖」という名の由来

神之池の歴史や昔話を知っておくと、訪れる楽しみがふくらむかもしれません。ここで、歴史民俗資料館

係長の谷田法

子さんから教わった歴史こぼれ話を紹介します。

まずは名前

の話から。神之池が初めて文献に登場したのは奈良時代で、「寒田沼」と呼ばれていました。その後、「降池」「業之池」「降野池」「神池」「神の池」へ。古代から地域のシンボルであったことに変わりはありません。昭和30年には、神之池と息栖神社から「神栖村」の村名が付けられました。

舟が禁止された池

江戸時代に大ききに襲われた時、神之池に発生した不思議な藻を食べて人々が命をつなぎ、それ以降は「池に舟を入れると天罰が下る」と言い伝えられてきました。しかし実際には、コイ、フナ、エビなどの乱獲



谷田係長

を防ぐために舟を禁止、筏で漁をしていたようです。明治時代には養魚場としても有名になり、大正、昭和と舟による漁が盛んに行なわれました。

奈良時代からの農業用水

神之池の水は千年以上前から農業用水として耕地を潤してきました。江戸時代は水争いがたびたび起こり



埋め立て前の神之池



魚の目方を量る仲買人



当時の神之池と砂丘を再現したジオラマ
(神栖市歴史民俗資料館)

ましたが、それだけ無くてはならない水だったといえます。今も常陸利根川から汲み上げた水を貯め、何本もの用水路で水田に送り出す農業調整池として、神栖市の農業を支えています。

砂丘が見えた頃

神之池のほとりに、国指定重要文化財「山本家住宅」があります。こ

こを管理する山本信三郎さんに、鹿島開発が行なわれる前の神之池の思い出を聞きました。



山本家住宅を管理する山本さん

「昔の神之池はおむすび型をしていました。漁で生計を立てている人もいましたが、子どもにとっては格好の遊び場。私が子どもの頃(昭和20年代後半〜30年代中頃)は、よく水浴びをしたものです。当時は湧き水があり、水がとてもきれいでね。夏が近づくと何メートルも池の水が引いて、遠浅の砂浜になった場所で遊んでいました。忘れられないのは、神之池から遠くの鹿島砂丘が見渡せたこと。海からは4キロメートルも離れていますが、ここまで潮騒が届いたんですよ。砂丘へ遊びに行ったこともあります」

山本さんの心に焼き付いている「鹿島砂丘と神の池」の風景は、昭和25年に茨城百景に選ばれています。

鹿島開発で池が7分の1に

鹿島開発に伴い、昭和42年から46年にかけて神之池の埋め立てが行な

豊かな自然環境

魚と鳥と植物の宝庫

神之池の豊かな水は、多くの魚や鳥、植物を育んできました。水面をゆらすヘラブナやコイ。ウグイスのさえずり、スイスイと泳ぐカモ、羽を休めては飛び立っていくシギやチドリ……。野鳥観察のポイントとしても有名です。

池の周囲にはサクラやツツジ、ケヤキなどの樹木が育ち、美しい花、

われました。「海岸までベルトコンベアを敷いて砂を運んだので、ベルコン通り」と呼ばれるようになった。神之池の面積は昔の7分の1になり、鹿島砂丘も姿を消しました」と山本さんは振り返ります。

昭和48年には池の周辺が神之池緑地として整備され、池を一周できる遊歩道が完成。ただし、現在のように樹木が育っておらず、木陰でくつろぐことはできなかったようです。



当時のベルコン通り



古来より親しまれた神之池(昭和22年 米軍による航空写真)



※写真は神栖市歴史民俗資料館所蔵

神之池の面積は7分の1に(昭和49年 国土地理院による航空写真)

花とどんぐりがお出迎え

自然の彩りを一層豊かにする活

新緑や紅葉など、四季折々の眺めを楽しむことができます。とくに春は約3000本の桜が咲き誇る花見の名所として知られ、4月上旬に開催される「かみす桜まつり」は多くの花見客で賑わいます。



動をしているのが「かみすどんぐりの会」です。平成15年の設立当初から熱心に活動してきた梶山正子さんに話を聞きました。「最初は神之池の自然再生事業からスタートしましたが、東日本大震災で護岸が被災してピオトープを維持できなくなり、それ以降は花や木を植えて憩いの場をつくる活動をメインとしています。ブナ科の木を何本も植えたら、幼稚園児がどんぐり

神之池緑地は、気軽に訪れられるのが大きな魅力。広い駐車場やトイレが何カ所もあって便利なおうえ、ベンチ、テーブル、あずまやなどが整備され、お弁当を持ってゆっくりと過ごすことができます。次のページでは、敷地内の見どころや主な施設を紹介いたします。さっそく出かける計画を立ててみませんか？

場所は、つきやま広場の隣り。季節の花や木を眺め触れることのできる、身近で素敵な花畑です。

遊びをする子もいますね」

拾いに来られるようになりまして。ビワ、柿、栗なども、4〜5年たったら収穫できるようになると思っています。子どもたちの喜ぶ顔が楽しみです。春から初夏にかけては、チューリップ、バラ、スイセン、ムスカリ、芝桜、ハナビシソウなどがきれいに咲きますよ。また、水生植物を育てている水辺でオタマジャクシを見つけ、夢中で泥んこ遊びをする子もいますね」



神之池緑地 おさんぽマップ

とにかく広くて、気ままに歩けば出会いと発見の連続。
 何度訪れても飽きることがありません。
 この開放感と清々しさを、体いっぱい感じてください！



16 姉妹都市友好記念ガゼーボ(あずまや)



姉妹都市の米国ユリカ市で木工所を営むエリック・ホーレンベック氏から、1994年に寄贈されたもの。材料のアメリカ杉は樹齢2000年を数える大変貴重なものです。

1 ランニング・散歩コース

神之池のほとりを一周する約5kmのコース。路面は足腰への負担が少ないゴムチップ舗装です。100mごとに距離表示があります。



2 パターゴルフ場

天然芝で池やバンカーもある本格的なコースが2つ。東コースは古典的、西コースはスコットランド風なレイアウト。パターを無料で借りることができます。



8 神之池モニュメント

国道124号線からも見える、昔の神之池をかたどったモニュメント。埋め立て前はおむすび型の池でした。



5 モニュメント

神之池の出島部分にあるのは彫刻家八木ヨシオ氏の作品「船出伝説」。1996年に設置されました。



3 多目的広場

天然芝の広場で、いろいろなスポーツが楽しめます。主にグラウンド・ゴルフで使われており、300人規模の大会が開けます。

4 芝生広場

開放感あふれる芝生広場にはいろいろな種類の遊具があり、幼児の遊び場に最適。船をイメージした大型遊具もあります。



6 ライオンズクラブのモニュメント

「絆」と題された、神栖ライオンズクラブ設立記念のモニュメント。



15 花の森・地球を支える乙女たち像

ふれあい橋を渡ると、中央にブロンズ像のある立派な花壇に迎えられます。季節の花で美しく染め上げられた花の森で、いこいのひとときを。



14 野球場・庭球場

鹿島工業団地側に、駐車場を挟んで野球場と庭球場が並んでいます。白熱した試合が繰り広げられます。



12 つきやま広場

見晴らし抜群のつきやま頂上から滑りおけるカーボンスライダーは、その迫力と爽快感で大人気。近くにブランコやムービング遊具もあり、子どもたちは遊びに夢中！



13 花畑とどんぐりの森

かみすどんぐりの会の皆さんが、色とりどりの花々や実のなる木、水生植物などを育てています。花畑を歩いたりどんぐりを拾ったり、心なごむエリアです。



17 ふれあい橋

池に浮かぶ浮棧橋で、長さは 237.5m。ジグザグになったり階段で上り下りしたりと変化に富んでおり、水上散歩を満喫できます。

野鳥

神之池は格好の野鳥観察スポット。例えばカモだけでもカルガモ、コガモ、マガモ、オナガガモなど何種類も見られ、特に冬にはカモ類の大群がやってきます。



移動がラクラク!

10 水神社

神之池の鎮めの神として、約 1300 年前に創始されたと伝えられています。



9 レンタサイクル貸出所

広大な神之池緑地内をラクラク回れるよう、大人用と幼児用の自転車を用意。1 時間 50 円で借りられます。



11 バーベキュー広場

バーベキュー炉 5 基をゆったりと配置。周りを藤棚に囲まれ、あずまやもあります。利用は予約制で、なんと無料！



7 アリのモニュメント

エントランス広場には、不思議な形のモニュメントが並んでいます。これは巨大アリの「プラアント」。木之内鉄工(株)さんから寄贈されました。

